



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月15日 東

上場会社名 夢展望株式会社 上場取引所
 コード番号 3185 URL <http://www.dreamv.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡 隆宏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 阪田 貴郁 (TEL) 072-761-9293
 四半期報告書提出予定日 平成28年1月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	2,916	—	△146	—	△163	—	△193	—
27年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △195百万円(—%) 27年3月期第3四半期 —百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	△36.46	—
27年3月期第3四半期	—	—

(注) 1 平成28年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

2 平成27年3月期第3四半期は、決算期変更により第3四半期に相当する四半期連結財務諸表は作成しておりません。これに伴い、連結経営成績(累計)については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	1,634	110	6.8
27年3月期	2,070	306	14.8

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 110百万円 27年3月期 306百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 平成27年3月期につきましては、決算期変更により6ヶ月の変則決算となっております。

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,803	—	△214	—	△235	—	△299	—	△56.40

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2 平成27年3月期は決算期変更に伴い6ヶ月の変則決算となっておりますので、通期の対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の2に該当するものであります。詳細は添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	5,304,000株	27年3月期	5,304,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	一株	27年3月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	5,304,000株	27年3月期3Q	一株

(注)平成27年3月期は決算期変更に伴い6ヶ月の変則決算となっておりますので、平成27年3月期第3四半期の期中平均株式数(四半期累計)については記載しておりません。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は平成27年3月30日に開催された臨時株主総会で、「定款一部変更の件」が承認されたことを受けて、決算期末日を9月30日から3月31日に変更致しました。このため、対前期増減率は記載しておりません。

当第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年12月31日）におけるわが国経済は、継続する円安と株高により、輸出企業を中心に業績回復基調が継続する一方で、消費税増税や輸入商品の価格上昇等もあり、個人消費の回復傾向は見られず、また、海外経済の景気下振れ懸念もあり、先行きの不透明感は依然として払拭しきれない状況が続いております。

当社グループが属するアパレル小売業界におきましては、競争激化が進む中、円安による仕入価格の高騰が続く、また、消費者の節約志向も依然として続いており、引き続き厳しい状況となっております。

このような市場環境の下、当社グループにおきましては、基幹事業である衣料品販売事業におきまして、前連結会計年度の後半よりターゲット顧客の絞り込みを目的としたブランド戦略の見直しを進めて参りましたが、当連結会計年度に入ってから必ずしもこれらの成果が見いだせない状況を鑑みて、再度ブランド戦略の見直しと商品企画体制の強化を図っております。また、引き続き、業績不振の原因を様々な角度から調査・分析し、業績不振からの脱却を早期に果たすべく改革を進めております。前述のブランド戦略の再度の見直しや商品企画体制の強化を含め、スタイリング提案の豊富な販売サイトへのリニューアルやSNS等を活用した販促企画の強化等、途上ではあるものの改革は着実に進んでおり、来春以降の春夏物衣料からその成果が表れてくるものと見込んでおります。販売費及び一般管理費に関しましても、引き続き低減活動を進めており各種施策の効果が表れてきております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、上記の改革が進んできてはいるものの、この秋冬商戦においては、前期からのブランド戦略の転換が奏功せず、主力のワンピースやコートなどの分類で、廃止したブランドの前年同期比並みの売上を、注力したブランドでカバーすることができておらず、全国的な高気温による影響も相まって、売上高は計画を下回る結果となりました。利益面に関しましては、売上高の低迷により売上総利益の確保ができず計画を下回ってはいるものの、販売費及び一般管理費において、前期より進めている低減活動に加え改革による各種施策の成果もあり、前連結会計年度と比較して大幅に改善されてきております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は2,916百万円、営業損失は146百万円、経常損失は163百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は193百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(衣料品販売事業)

衣料品販売事業におきましては、これまでの不振の原因を徹底的に追求し改善すべき点を明確にする作業を進めております。商品・ブランド戦略を再度見直し、お客様に求められる商品をいかに提供することができるかという最も重要な点を優先課題として取り組んでおります。

当第3四半期連結会計期間におきましては、最も売上の見込める秋冬衣料の販売が不調であったため、第2四半期連結累計期間に引き続き、売上は低迷しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の衣料品販売事業の売上高は1,680百万円、営業損失は54百万円となりました。

(玩具・雑貨販売事業)

玩具・雑貨販売事業におきましては、第2四半期連結累計期間に引き続き、少子化や消費者ニーズの多様化、円安による原材料高騰という、依然として厳しい環境にはあるものの、主要取引先への販売を中心に、好調に推移しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の玩具・雑貨販売事業の売上高は851百万円、営業利益は25百万円となりました。

(その他事業)

その他事業では、メーカーや小売事業者向けの広告販売事業、他社インターネットモール等への卸売事業及び実店舗事業を行っております。実店舗事業におきましては、期間限定店舗の期間満了に応じた閉店を進めております。今後の出退店の方針として収益性が低い店舗については早期撤退をする方針としております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のその他事業の売上高は384百万円、営業損失は117百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて434百万円減少し、1,355百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が297百万円、商品及び製品が111百万円減少したこと等によるものがあります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べて1百万円減少し、278百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産が22百万円、無形固定資産が45百万円減少しましたが、投資その他の資産が66百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ435百万円減少し、1,634百万円となりました。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて266百万円増加し、1,224百万円となりました。この主な要因は、未払金が263百万円、1年内返済予定の長期借入金が219百万円減少したものの短期借入金が857百万円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べて506百万円減少し、300百万円となりました。この主な要因は、長期借入金505百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ240百万円減少し、1,524百万円となりました。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて195百万円減少して110百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失を193百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年1月7日に公表致しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前連結会計年度については、連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,077,509	780,012
受取手形及び売掛金	277,729	219,260
商品及び製品	418,714	307,131
貯蔵品	—	7,342
その他	16,519	42,110
貸倒引当金	△119	△76
流動資産合計	1,790,354	1,355,779
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	29,039	14,222
工具、器具及び備品（純額）	20,989	14,823
リース資産（純額）	2,000	875
有形固定資産合計	52,029	29,921
無形固定資産		
ソフトウェア	175,576	130,650
商標権	3,938	3,553
無形固定資産合計	179,515	134,203
投資その他の資産		
その他	48,452	114,602
投資その他の資産合計	48,452	114,602
固定資産合計	279,996	278,727
資産合計	2,070,350	1,634,507

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	190,096	88,230
短期借入金	—	857,400
1年内返済予定の長期借入金	299,800	80,000
リース債務	1,654	982
未払金	400,490	136,928
未払法人税等	13,593	14,727
ポイント引当金	18,541	7,772
賞与引当金	20,049	6,275
事業整理損失引当金	1,246	1,246
返品調整引当金	1,101	1,096
その他	10,709	29,360
流動負債合計	957,282	1,224,018
固定負債		
長期借入金	805,485	300,000
リース債務	563	—
長期未払金	817	—
固定負債合計	806,865	300,000
負債合計	1,764,147	1,524,018
純資産の部		
株主資本		
資本金	966,585	100,000
資本剰余金	804,960	121,894
利益剰余金	△1,494,223	△137,961
株主資本合計	277,321	83,933
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	28,880	26,555
その他の包括利益累計額合計	28,880	26,555
純資産合計	306,202	110,488
負債純資産合計	2,070,350	1,634,507

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	2,916,901
売上原価	1,663,878
売上総利益	1,253,023
返品調整引当金戻入額	1,101
返品調整引当金繰入額	1,096
差引売上総利益	1,253,029
販売費及び一般管理費	1,399,720
営業損失(△)	△146,691
営業外収益	
受取利息	1,564
為替差益	554
受取損害賠償金	267
その他	405
営業外収益合計	2,792
営業外費用	
支払利息	14,896
その他	4,891
営業外費用合計	19,787
経常損失(△)	△163,686
特別損失	
固定資産除却損	23,157
特別損失合計	23,157
税金等調整前四半期純損失(△)	△186,843
法人税、住民税及び事業税	6,544
法人税等合計	6,544
四半期純損失(△)	△193,388
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△193,388

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)	
当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	
四半期純損失(△)	△193,388
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△2,325
その他の包括利益合計	△2,325
四半期包括利益	△195,713
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△195,713
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年2月12日の取締役会において、平成27年3月30日開催の臨時株主総会に「資本金の額の減少の件」及び「資本準備金の額の減少の件」について付議することを決議し、当該臨時株主総会において承認可決され、平成27年5月2日にその効力が発生しております。

資本金の減少額 866,585,000円

資本準備金の減少額 804,960,000円

また平成27年6月29日開催の定時株主総会において、「剰余金の処分の件」について付議し、当該定時株主総会において承認可決され、剰余金を処分し、その他資本剰余金で繰越欠損を補填しております。

その他資本剰余金の減少額 1,549,650,519円

繰越利益剰余金の増加額 1,549,650,519円

(セグメント情報等)

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	衣料品 販売事業	玩具・雑貨 販売事業	その他事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	1,680,310	851,718	384,873	2,916,901	2,916,901
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,680,310	851,718	384,873	2,916,901	2,916,901
セグメント利益又は損失(△)	△54,887	25,280	△117,084	△146,691	△146,691

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。